



Dual-Use Course

| デュアルユースコース |

募集要項

応募締切：2025年10月24日(金) 17:00 (JST)



INDEX

- 01 | コース概要
- 02 | プログラム構成
- 03 | スケジュール
- 04 | 対象者・応募要件
- 05 | 費用負担
- 06 | 選考プロセス・基準
- 07 | 応募方法
- 08 | 注意・免責事項
- 09 | 問合せ先

01 OUTLINE | コース概要

目的

米国およびインド太平洋地域のハブとなるハワイにて、デュアルユース技術※1を特徴としながら米国市場への参入を目指すために必要な知識の習得や交渉スキルの向上、米国国防総省（DoD）やデュアルユース専門家コミュニティとのリレーション構築を目指す。

1	米国政府調達案件の受注に向けた知識・交渉スキルの習得、ネットワークアクセス
2	デュアルユースの専門家コミュニティや防衛・政府関係者とのリレーション構築
3	米国防衛市場の理解、参入に向けたメンタリング

※1 商業市場と防衛市場の両方に応用可能なできる技術

派遣先

米国・ハワイ

- ・ インド太平洋地域の安全保障・防衛ニーズを理解する上での重要な拠点
- ・ 米国国防総省や防衛関連のステークホルダーとのネットワークが形成されており、スタートアップがDoD関係者や大手防衛産業との接点を得やすい環境

主な対象

対象企業	・ デュアルユースとして米国展開を目指す日系スタートアップ企業
ステージ	・ シード～レイター ステージ ※ミドル・レイター ステージを優先
分野	・ デュアルユースの可能性のある全分野 昨年度の実績例）ドローン・ロボティクス、先端素材、宇宙衛星、量子等
その他	・ 海外展開における意思決定が可能な方（創業者・CXOクラス）がコースを通じて参加が可能なこと ・ ビジネスレベル以上の英語力を有すること

※渡航対象者等の応募条件の詳細は「04|対象者・応募要件」をご確認ください



02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – 全体像



1 国内オンラインプログラム



オリエンテーション・メンタリング (15-25社)

デュアルユースおよび米国市場（特に防衛分野）でのビジネス機会に向けた基礎知識の理解を目的として、オリエンテーションや講義を実施。
現地における潜在顧客の把握を目的として、個別メンタリングを実施。

2 国内ミートアップ



渡航採択社キックオフ (10-20社)

コホート参加企業同士の交流や公式キックオフ、過去参加者とのネットワーキングを通じて、現地プログラムに向けた基盤を築く。米国市場の政策理解やピッチトレーニングも実施し、渡航前に必要な準備を整えるフェーズ。

3 現地渡航プログラム



ワークショップ・ネットワーキング ・デモデイ（10-20社）

米国政府調達案件の受注や防衛市場における米国展開に向け、交渉スキル等に関するワークショップを実施。
商談機会を提供する場として、デュアルユースの専門家コミュニティや政府関係者に向けたデモデイおよびネットワーキングの開催。

4 フォローアッププログラム



フォローアップ (10-20社)

フォローアップメンタリングや個別連携サポートにより、渡航プログラム後に発生した課題やネクストアクションの整理およびその解決支援、新規商談先の紹介等のフォローアップを提供

02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – 詳細



1 国内オンラインプログラム | オリエンテーション・メンタリング

デュアルユースおよび米国市場（特に防衛分野）でのビジネス機会に向けた基礎知識の理解を目的として、レクチャーやワークショップを実施。参加企業個別ニーズや現地における潜在顧客の把握を目的として、個別メンタリングを実施。

定員 15-25社

日程 11月初旬～12月中旬 5週間程度（予定）
オンライン開催

概要

- **オリエンテーション、週次レクチャー/ワークショップ**
 - デュアルユース秘術の基礎、および米国市場（特に防衛分野）でのビジネス機会について
 - 米国防衛市場や政府調達の仕事について
- **週次 1-on-1メンタリング**
 - 政府調達向け資料作成（Penta Chart / Quad Chart など）
 - 参加企業のプロダクト詳細や差別化要因について、メンターとの間で相互理解を促進
 - メンターによる現地市場参入に向けた目標・戦略策定や助言

※使用言語：英語
※この段階で、PICHTRが各社を評価し、現地プログラムに参加する企業を最終的に選定します。

02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – 詳細



1 国内ミートアップ （現地渡航プログラムへの採択社のみ）

コホート参加企業同士の交流や公式キックオフ、過去参加者とのネットワーキングを通じて、現地プログラムに向けた基盤を築く。
米国市場の政策理解やピッチトレーニングも実施し、渡航前に必要な準備を整えるフェーズ。

定員 10-20社

日程 12月下旬 1週間程度（予定）
ハイブリッド開催（対面 & オンラインのセッション）

概要

- 公式キックオフ
 - コホート参加企業同士の交流
 - 過去アルムナイ企業などとのネットワーキング
- 政策/規制セッション
 - 経済産業省（航空機武器産業課・宇宙産業課など）との面談 （予定）
 - 日米防衛産業の政策、輸出管理などに関する講義

※使用言語：英語

02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – 詳細



2 渡航プログラム | ワークショップ・ネットワーキング・デモデイ

現地にて、DoD関係者や投資家、現地企業とのネットワークを構築し、米国市場での実践的な事業開発を目指す。
デモデイ（PACT Conference）でのピッチや展示も行い、具体的な商談や協業の機会を目指す。

定員 10-20社（各社1名まで）

日程 2026年2月10日～2月28日 2週間程度（予定）
ハワイ・ホノルル

概要

・ ワークショップ

- 米国政府調達案件の受注に日本企業として参画するために必要なエコシステムの理解
- 米国政府調達案件の受注におけるコンプライアンスや文化の違いに関する理解
- 安全保障関連事業に必要な知的財産や輸出管理の理解

・ ネットワーキング・デモデイ

- デュアルユースコミュニティや政府関係者・防衛産業とのリレーション構築（米国防省、INDOPACOM、投資家、防衛企業など）
- 潜在顧客との面談
- デモデイの実施（PaCT Conference※）

※PaCT Conference（Partnerships for Climate Technology）：気候変動を含む自然災害とデュアルユースに対する課題、解決策、ネットワークの共有の場。昨年度は、政府関係者を含む様々なデュアルユースの専門家コミュニティ有力者が出席

02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – 詳細



3 渡航後プログラム | フォローアップ

フォローアップメンタリングや個別連携サポートにより、渡航プログラム後に発生した課題やネクストアクションの整理およびその解決支援、新規商談先の紹介等のフォローアップを提供

定員 10-20社

日程 2025年3月 (3週間)
オンライン

概要

- フォローアップメンタリング
 - 渡航プログラムにおける不明点や積み残し課題の確認およびその解決支援
 - 現地で面談したステークホルダーとのフォローアップ状況の確認および連携強化促進支援
- 個別連携サポート
 - 参加企業とステークホルダーの個別引き合わせ
 - 参加企業に対する新規商談先の紹介

02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – メンターの紹介



Dennis
Teranishi

主担当：米国-ハワイ-日本間連携

PICHTRの現所長兼CEO。以前は、AMFAC社で19年間務めた後、AMFAC Agribusiness社、North Shore Associates社、マカデミアナッツチョコレートの最大手メーカーであるHawaiian Host社でCEOを歴任。カリフォルニア州立工科大学で作物学の理学士号、ハワイ大学で土壌化学と植物栄養学の理学修士号を取得。米陸軍大尉として名誉除隊、2014年に日本政府より旭日小綬章を授章。



Ian Kitajima

主担当：技術-ビジネス開発

先端技術のイノベーション開発に30年以上の経験を持ち、内21年間は米国防総省のプロジェクトに従事。元ハワイ・デュアルユース・テクノロジー・グループの共同リーダー。Oceanitの企業開発担当ディレクターを21回以上務め、3社をスピンオフし、ナノテクノロジー、応用人工知能、サイバーセキュリティ等の分野に関与。教育と技術革新の思想的リーダーとしてハワイ内外で知られ、PICHTRおよびデザイン・シンキング・ハワイでイノベーションの成長を推進中。



Keith
Matsumoto

主担当：技術-米国政府調達

デザイン・シンキング・ハワイの共同設立者およびPICHTRのプログラムディレクターで、非営利団体、技術開発、連邦契約管理等で30年以上の経験を保有。PICHTRでは、HTDV※プログラムの計画立案および5000万ドル規模のプログラムでディレクターを務め、ハワイ・デュアルユース・テクノロジー・グループを設立。近年は、ハワイおよびアジア太平洋地域の資源と環境の持続可能性の確保に注力。

※ Hawaii Technology Development Venture



Naoki Nagai

主担当：日本-米国間連携

アジア太平洋地域におけるイノベーションやクリーンエネルギーソリューションに関する豊富な経験を持つビジネス戦略に関する専門家。日米両国のフィンテック分野で起業経験を持ち、スタートアップの成長過程を積極的に支援。前職のMcKinsey&Companyでは、PICHTRのアドバイザーとして、半導体産業における日米デュアルユースの協働に貢献。ハーバード大学で応用数学の学位を取得。米日カウンシルメンバー。

02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – 支援機関の紹介



PICHTR

URL: <https://pichtr.org/>



PICHTR (The Pacific International Center for High Technology Research) は、ハワイとインド太平洋地域の経済機会の育成に焦点を当てた非営利のアクセラレーターである。アクセラレーターとして39年の経験を持つPICHTRは、気候変動、クリーンエネルギー、テクノロジー、ヘルスケア、災害対策、資源保護など、さまざまな分野で起業家、イノベーターを支援している。PICHTRは、Climate Adaptation Collective^{※1}や National Disaster Preparedness Training Center^{※2}などのプロジェクトを通じて、各種社会課題に取り組み、政府との契約を促進し、アイデアを製品化し、トレーニングやコンサルティングを提供し、地域のテクノロジーとレジリエンスの発展に貢献している



支援した起業家、イノベーター数：**587社**



ハワイおよびインド太平洋地域における支援実績：**41年**

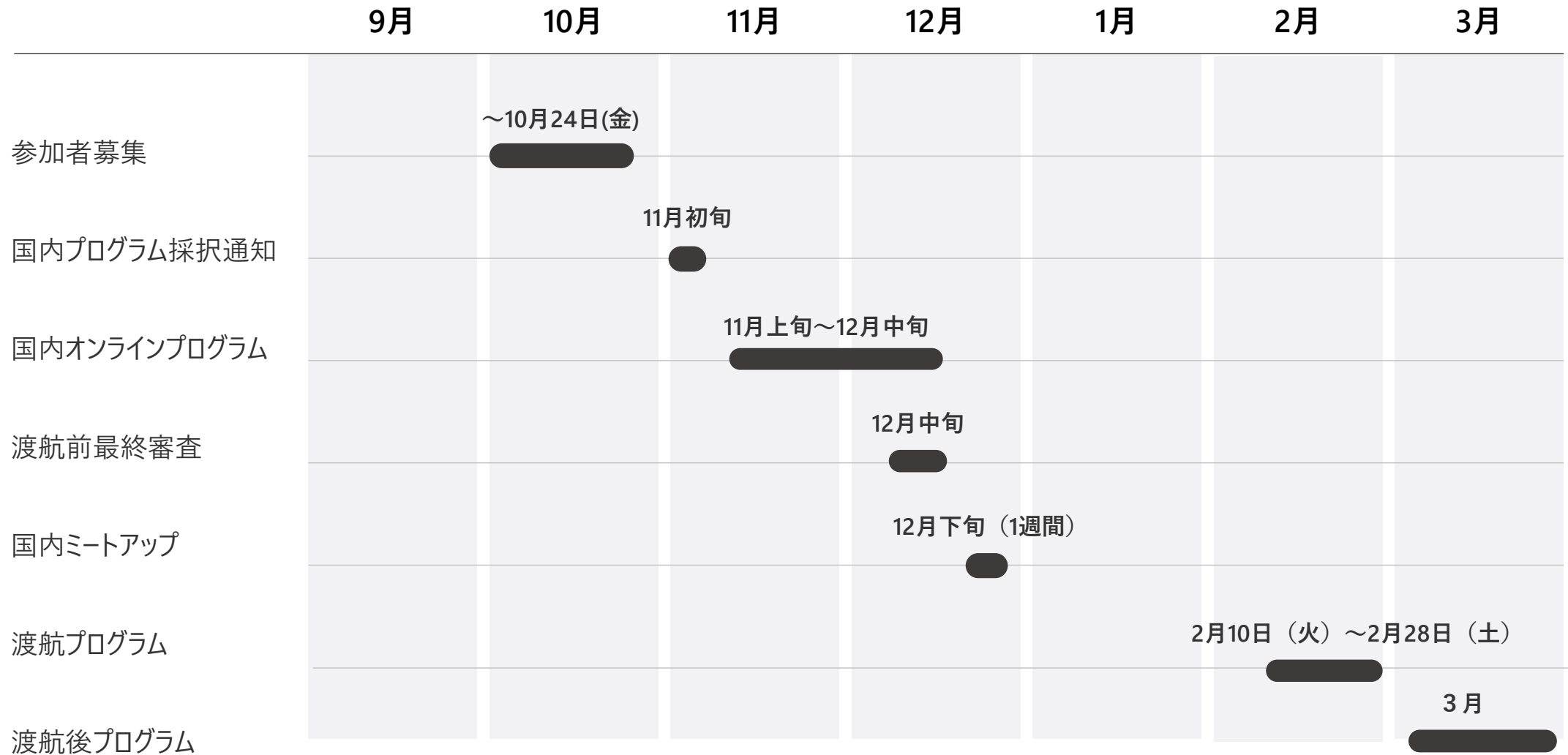


支援した企業の資金調達額：**\$350M**

※1 ハワイの気候変動課題に関する理解促進および提言活動

※2 National Domestic Preparedness Consortiumにおける自然災害に特化した機関で、防災訓練を開発・提供する

03 SCHEDULE | スケジュール



04 ELIGIBILITY AND APPLICATION REQUIREMENTS | 対象者・応募要件



定員

- ・ 国内オンラインプログラム：15~25社程度
- ・ 現地渡航プログラム：10~20社程度

主な対象

対象企業	・ デュアルユースとして米国展開を目指す日系スタートアップ企業
ステージ	・ シード~レイター ステージ ※ミドル~レイターを優先
分野	・ デュアルユースの可能性がある全分野 昨年度の実績例) ドローン、先端素材、宇宙衛星等
その他	・ 海外展開における意思決定が可能な方（創業者・CXOクラス）がコースを通じて参加が可能なこと ・ ビジネスレベル以上の英語力を有すること

応募要件

コース参加者は以下の全ての条件を満たすこと

- ・ 日本に活動拠点のある日系スタートアップに所属するCXOクラスもしくは海外事業責任者の方
（日系スタートアップに所属する方である限り国籍は問わない）
- ・ 商談可能な英語力を有すること
- ・ 潜在パートナーに提示するプロトタイプを有すること
- ・ 参加後のアンケート等に協力いただけること
- ・ 本コースが提供するサービス（オンラインメンタリング等）に参加するための設備・環境を準備可能な方

※ J-StarXプログラムは経済産業省・JETROが連携して行うプロジェクトであり、随時、フォローアップアンケートや成長過程の調査を実施します

05 COST-BEARING | 費用負担



参加者による費用負担

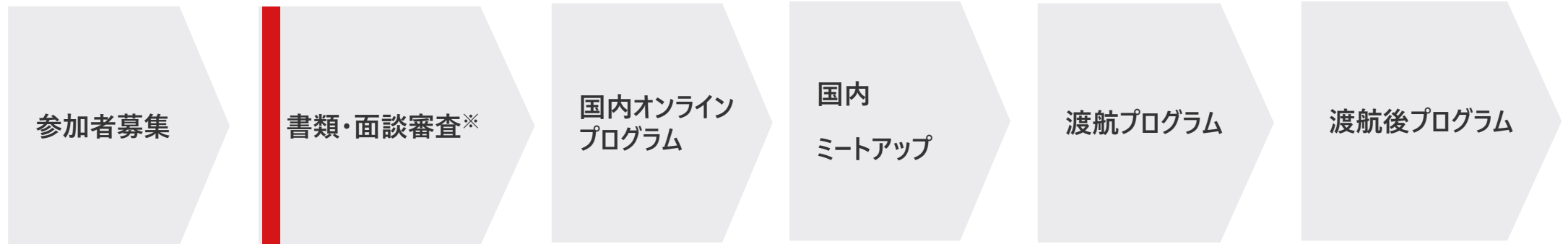
- 国内移動費
- 米国渡航費（航空券）
- 海外での移動、飲食費用、通信費、VISA代、保険費などのその他発生する費用
- その他「主催者JETROによる費用負担」以外のすべての費用

主催者（JETRO）による費用負担（現物支給）

- メンタリング等のプログラム料
- 宿泊については、希望者のみ（1社1名まで）、JETRO指定ホテルに限り、JETROにて手配します。
- ※ ホテルの空き状況、同意書提出のタイミングなどにより、すべての参加者が同じホテルに宿泊できるとは限らないことあらかじめご了承ください。
- ※ JETRO指定以外のホテルに宿泊を希望される場合は、ご自身での手配・費用負担をお願いします。

※ 上記は全てJETROにて手配の上、支給します。参加者に上記費用を支払うものではありません

06 SELECTION PROCESS・CRITERIA | 選考プロセス・基準



※面談審査（オンライン）の日程は、必要に応じて、後日対象者にご連絡します

選考基準

- 招聘するメンターならびにジェトロがサポート可能であること
- 本プログラムの参加によって、国内外のスケールアップが見込まれること
- 製品やサービスに技術力や競争優位性があること
- バリュープロポジションが明確であること
- ビジネスモデルの収益性が高く、持続的な成長が見込めること
- 海外展開に適したチーム構成であること
- 本プログラムに対する情熱を持っていること
- 原則、他のJ-StarXプログラムにて渡航プログラムに参加していないこと等

※本コースよりも上級者向けのJ-StarXプログラムへの申し込みは可能です。重複の可否はジェトロにて判断します

応募フォーム

2025年10月24日(金) 17:00 (JST) 締切

-
- 応募内容について、審査を行い、採択可否の通知を行います
 - 書類審査に加えて、必要に応じて面談審査（オンライン）も実施します
 - 審査結果に対する問い合わせには一切お答えできませんので、予めご了承ください
 - 別途、ピッチデッキ資料（英語）の提出が必要です
（形式・方法等は次ページ以降参照）

07 APPLY | 応募方法



ピッチデッキ資料の提出方法・プロセス

Step 1

資料作成

スライド（英語）作成

※原則PowerPointで作成し、PDF形式に変換

Step 2

格納（アップロード）

作成したピッチデッキ資料を右に記載のリンクからアップロード

■ピッチデッキ資料の格納先は[こちら](#)

※ 上記リンクへの提出が難しい方は、j-starx@jetro.go.jp宛にメールにてご提出ください。その場合、メールの件名は「Dual-Use Course_企業名_名前」とし、本文にプログラム名、企業名、氏名を記載の上ご提出ください（名前の部分にはご自身の名前をご記載ください）

07 APPLY | 応募方法



ピッチデッキ資料作成にあたっての留意点

以下の留意点を守られていない場合は、審査対象外となる可能性がありますので、ご注意ください

■ ピッチデッキ資料作成の留意点

- 右欄に示す記載内容を含む形でご作成ください
- 表紙は不要、**10ページ程度**でご作成ください
- ファイルは原則PowerPointで作成し、PDF形式に変換してご提出ください（ファイルサイズは10MB以下）
- ファイル名は「**Dual-Use Course_企業名_名前.pdf**」としてください
（名前の部分にはご自身の名前をご記載ください）
- **2025年10月24日(金) 17:00 (JST) まで**にご提出ください

■ ピッチデッキ資料に記載する内容

プロトタイプについて以下の5項目を必須項目としてスライドに記載してください。また、ご自身のお名前を1ページ目左上にご記載ください

1. 解決したい課題の内容
2. デュアルユース用途
3. プロトタイプ/製品またはサービスの概要
（写真や図、文章を用いて）
4. 事業の拡大戦略
5. プロトタイプにおけるアピールポイント・強み

※資料は**英語**でご作成ください

※スライドのデザイン・フォーマットは問いません

1. 本コースの参加費用支援は、原則1社1名までとなります（自社負担での同行については問題ありません）
2. 必要に応じて、現地交渉先との面談などにも、メンターおよびジェトロ職員が同行する可能性があります。また、帰国後の成果把握、進捗確認への協力をお願いします
3. 本コースの選考通過後は、ジェトロ事業の紹介、成果報告のための外部公開をする場合がありますので、ご了承ください（公開内容は事前に確認を行います）
4. 原則、他のJ-StarX対象コースにて渡航プログラムに参加していないこと
※本コースよりも上級者向けのJ-StarXプログラムへの申し込みは可能です。重複の可否はジェトロにて判断します

免責事項

[免責事項](#)をよくお読みの上、応募をお願いします

キャンセル規定

如何なる理由においても、渡航日程決定後のキャンセルは認められません
キャンセル料、もしくは変更料が発生する場合は自社にて負担いただきます
キャンセル料発生日：正確な期限は後日参加者にアナウンスします

09 CONTACT | お問い合わせ



コース名 Dual-Use コース

実施機関 ジェトロ イノベーション部／スタートアップ課

担当者 蟹江・林田

メール [J-StarX お問い合わせフォーム](#)

